

損傷した脳からの伝言

もしも脳が話すことができたなら、損傷した脳は我々に何が言いたいでしょうか。

こんにちは、目が覚めたんですね、うれしいですよ。話をしているのはあなたの脳です。あなたと話をするためには少々苦勞をしましたよ。まるで第三次世界大戦の中を生き延びたという感じです。まだ、ちゃんとまとまったという気がしませんがね。だからあなたの手助けがいるんですよ。私のことをちゃんとケアしてもらいたいです。

いらいらしないで

だんだん良くなっているって感じますよ。まわりの人は、医者だって、あなたに我々は良くなったって言うでしょう、「さあ、人生を始めよう」ってね。そう言われると私だってうれしいし、おそらくあなたはもっとうれしいでしょう。でもね、あなたがでかい広い世界に大急ぎで舞い戻る前に、ちょっと聴いてほしいんですよ、真剣に聴いてくださいよ。私を閉じ込めないで。私から顔を背けないで。もし私がトラブルったら、前より一層あなたの助けが必要なのです。わかってますよ、信じたいんでしょう、我々はちっとも変わってないって。全力を尽くします、私だってそうなるように。問題は、多くの人が我々のような状況に陥ったときに、辛抱できなくて治癒過程を大急ぎで駆け抜けようとするんです。そうした人は、脳がちゃんと回復していないと、それを否認し、それに適応しようとしなくて、彼等の脳を無理に機能させようとするけど、もはやそれは不可能なのです。中には脳を動かなくなるまで、あるいはもっと悪くなるまで無理強いしたり...ああ、恐ろしい。あなたも私にそんなことをしやしないかと。もし私のことを受け入れてくれないなら、どうして良いかわからなくなります。二人ともわからなくなるってことです。

過去の実績で判断しない

どれほど私が必要としているか、あなたにどうわかってもらえばいいのか。私を受け容れてほしいのです、今日の私のままに、過去の私ではなくて、あるいは将来なるかもしれない私でもなく。多くの方は彼等の脳が過去にできたことばかり見えています。あたかも過去の業績が現在の成功失敗を予見する魔法のものさしであるかのように。だから彼等の脳がやっとここまで来たということを見るできないのです。まるでけがをしたことが、恥か罪のように思っているんです。ばかばかしいですか？どうか私のことを驚かないで、罪の意識を持ったり、恥だと思わないでください。我々は大丈夫です。我々はここまでやってこられたんですから。もしあなたが私と一緒に動いてくれるなら、もっと先まで行くことができますよ。どこ

までかはわかりません。できない約束はしたくないですから。でもこれだけは約束しますよ、私は最善を尽くしますってね。

やりすぎないこと

あなたにして欲しいことはこういうことです。我々どちらにも、私がどれほど傷ついたかは、わからないのです（まだ前に霧がかかったみたいなのです、私には）。どのくらい回復したのかも、どのくらいすばやくなのかも。どうか、ゆっくりやってください、あなたの人生を再び始めようとするときには。私のせいで、頭痛がしたり、胃がむかむかしたり、ひどくいらいらしたり、混乱したり、わけがわからなくなったり、怖くなったり、あなたはやりすぎていると感じさせたとすると、私は、私のできる唯一の方向にあなたの注意を向けようとしているんです。立ち止まって私の言うことを聞いてください。

私は傷ついたので、簡単に疲労困憊します。それに、仕事をしすぎるとうまくやれません。私だってあなた同様うまくやりたいですよ。やれるのならやりたいです。でも私がけがをする前にできたのとは異なるペースでやる必要があります。注意して私が言ったことに気をつけながら、我々を助けるために私を助けてください。

あきらめないで

再び歩き始めるために、私は私の役割を、最善を尽くしてがんばります。でも私はちょっと心配です。もし私がまったく同じでないとしたら、あなたが私を拒絶し、いっそ我々を殺そうとしないかと。自分の脳を殺そうとする人もいます。そして成功する人も中にはいるのです。私は死にたくありませんし、あなたにも死んで欲しくありません。私は二人して生きたいし、呼吸をし、存在したい、たとえ、存在することが過去と同じではないとしても。同じでないということは、良いことかも知れません。やさしいことではないかもしれない、でも、私を見放さないで欲しい。あなた自身を見放してはいけない。この世の時はまだ終わっていません。私がしたいことも残っている、私はやってみたい、たとえ違った方法でやってみる必要があるとしても。簡単ではない。私も懸命に働かねばならない、より一層、そして、知ってます、あなたもやるってことを。人があざ笑ったり、誤解していることはわかっています。気にしません。私が気にしているのは、私はいかに懸命に働き、できるだけ良くなるうとしていることをあなたが理解してくれることです。我々のことを、よく、できるだけ面倒見てほしいんです。私のことを恥だと思わないで。我々は生きている。我々はまたここにいる。人生において、本当に大切な事をあなたに見せるための機会が欲しいんです。さらに良くなるという、真に大切なことは何かを学ぶためのもう一つの機会が与えられたのです。

我々の最後のときに当たって、私は振り返って、我々が我々で作ったものに満足したい、

我々の人生の出来事すべてに、この傷も含めて。あなた無しで、私だけではできない。もしあなたが、傷が私や二人の人生に与えた影響によって私を憎むなら、私にはできない。どうか、悲嘆に打ちひしがれないようにしてほしい。そうすれば私は押し潰されてしまうでしょう。どうか私を拒絶しないでほしい。あなた無しでできることはほとんど無い。あきらめないというあなたの決心なしでは。我々を大切にしてほしい。私は本当にあなたを必要としている、とりわけ、今は。

(クイーンズランド脳損傷協会 ファクトシートより許可を得て翻訳転載)